

リニューアルオープン記念企画展

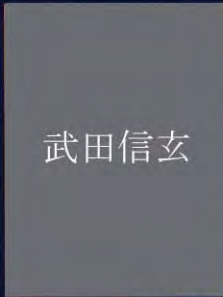
# 偉人たちの足跡を訪ねて



源頼朝・北条政子像  
伊豆の国市蛭ヶ島



北条早雲像  
小田原城天守閣蔵



武田信玄

武田信玄像  
山梨県立博物館蔵



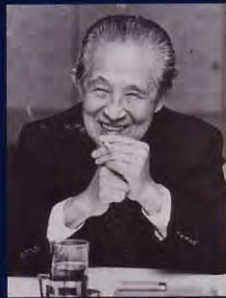
豊臣秀吉像  
名古屋市秀吉清正記念館蔵



徳川家康  
東照大権現像  
久能山東照宮博物館蔵



太宰治 日本近代文学館蔵



井上靖 井上靖文学館蔵

平成25年

11月1日(金)～12月15日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分(ただし11月1日は午後1時開館)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館。ただし11/5(火)、11/11(月)は臨時開館)

入館料 無料(ただし楽寿園の入園料として大人300円、小中学生50円)

三島市郷土資料館

〒411-0036 三島市一番町19-3(楽寿園内) TEL 055-971-8228  
URL <http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>  
[交通案内] 三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内

[主催] 三島市郷土資料館創造活動事業実行委員会 / 三島市教育委員会 / 平成25年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

みなもとの

よりとも

# 源 頼朝 (1147-1199)

## —三島の頼朝伝説をたずねて—



源頼朝・北条政子像  
伊豆の国市蛭ヶ島

鎌倉幕府初代将軍。守護、地頭を任命し東国を中心とした武家政権を確立しました。

### —伊豆と頼朝—

元治元年(1160)父、源義朝が平治の乱で敗れ、頼朝は伊豆へ配流になります。頼朝は三嶋明神を崇敬し、源氏再興のため百日参詣を行いました。葦山の蛭ヶ小島から三嶋大社までの道程を幾度も往復したため、三島や近隣の市町には、頼朝にまつわる逸話が多く残されています。



### 妻塚堂(三島市東本町)

ある夜、大庭景親が頼朝を闇討ちしようとして狙っていたところ誤って妻を殺めてしまったという言い伝えがあります。妻塚堂には大庭景親の妻が眠っているといわれています。

妻塚碑

### 対面石(清水町)

富士川の合戦の際、頼朝は奥州より馳せ参じた義経とこの地で対面したといわれています。



対面石



### 仁田四郎忠常の墓(函南町)

頼朝の寵臣であり、建久4年(1193)富士の巻狩で大猪退治をした仁田四郎の墓です。



八幡神社

あしかが よしあきら

# 足利義詮 (1330-1367)

## —武将たちと三島—



足利義詮墓 / 宝鏡院

室町幕府2代将軍。何度か合戦に敗れつつも、幕府を徐々に安定化させました。

### —宝鏡院の墓—

室町幕府2代将軍足利義詮の墓が三島市川原ヶ谷の宝鏡院にあります。この寺は義詮を葬って建てたともいわれています。

また、室町幕府8代将軍足利義政の弟政知のものと伝えられる墓石もあります。

ほうじょう そううん

# 北条早雲 (1432-1519)

## —武将たちと三島—



北条早雲像 / 小田原城天守閣蔵

戦国時代の武将。伊豆・相模に領国を獲得し、後北条氏の基礎を築きます。

### —三嶋大社での吉夢—

明応4年(1495)頃、三嶋大社に参詣し武運長久を祈ったそうです。その時に鼠が二本の大杉の根を噛み倒し、鼠がたちまち虎になるという夢を見ました。これは子年生まれの自分が、関東の両上杉氏(扇谷・山内)を倒すという知らせに違いないと喜び、太刀や鎧兜などを三嶋大社に奉献したそうです。

た け だ し ん げ ん  
武田信玄 (1521-1573)

— 武将たちと三島 —

武田信玄

武田信玄像 / 山梨県立博物館蔵

風林火山で有名な甲斐の戦国武将。信濃、駿河、西上途中の遠江・三河など四方で戦いを起こしました。

— 鎧坂の地名伝説 —

三島市文教町の鎧坂の地名の由来に、永禄12年(1569)信玄がここに陣を張った際洪水に遭い武具を流してしまった、というものがあります。また富士市の川成島にも同じような伝説が伝わっています。

三島市加屋町には、信玄の子といわれる故信上人開山の林光寺があります。

と よ と み ひ で よ し  
豊臣秀吉 (1537-1598)

— 武将たちと三島 —



豊臣秀吉像  
名古屋市秀吉清正記念館蔵

天下統一を果たし、統一後には家康を伊豆を含む関東に移しました。

— 山中城の戦い —

天正18年(1590)、天下統一を目指す豊臣秀吉により小田原征伐が行われます。約4千人が守備する山中城を豊臣軍約7万人が取り囲み、必死の攻防の末、半日で落城しました。この時の城主松田康長、豊臣側の一柳直末等の墓碑が山中城近くの宗閑寺にあります。

とくがわ いえやす

# 徳川家康 (1542-1616)

## —武将たちと三島—



東照大権現像  
久能山東照宮博物館蔵

江戸幕府の初代将軍。豊臣氏を滅ぼし、徳川政権の基盤を固めました。

### —徳川家康と御鷹部屋—

鷹狩りを好んだ家康の影響を受け、三島に御鷹部屋が設けられました。5代将軍綱吉の生類憐みの令により廃止になるまで、約60年間あったようです。昭和の始め頃まで三島の地図には「鷹部屋」の地名があります。三島市玉沢の妙法華寺には寺院移転に尽力した家康の側室、お万の方ゆかりの品があります。

とくがわ いえみつ

# 徳川家光 (1604-1651)

## —武将たちと三島—



御殿跡之図

江戸幕府3代将軍。自ら「生まれながらの将軍」と宣言した将軍です。

### —三島御殿—

元和9年(1623)、家光上洛の際、宿泊施設として建てられました。総面積は1万3千坪といわれ、堀・土塁が廻り、庭園、本丸、二ノ丸が造営されました。大名が宿泊した本陣と異なり、強固な防御施設となっていました。

まつお ばしょう  
松尾芭蕉 (1644-1694)

—三島を訪れた文人—



芭蕉坐像図  
江東区芭蕉記念館蔵

江戸時代前期の俳人。諸国を旅し、門人も各地に多数できました。

—三島に残る芭蕉の句碑—

広小路の蓮馨寺にある「松尾芭蕉老翁墓」には芭蕉の句が刻まれています。この墓は芭蕉の遺髪を分葬したものと伝えられています。この他にも、三島には三嶋大社、富士見平、薬師院の三カ所に芭蕉の句碑があります。

【句碑】

どんみりとあふちや雨の花曇

三嶋大社社殿東側の伊豆魂神社の参道石辺りにあります。元禄七年（一六九四）五月、芭蕉が江戸に残した妻「すて」の身を案じながら詠んだ句といわれています。



【句碑】

霧しぐれ富士を見ぬ日ぞ面白き

山中新田から笹原に下って行く富士見平にあります。貞享元年（一六八四）八月、野ざらしの旅での句です。箱根越えに際して詠じたもので、富士見平にちなんだ句と考えられています。



だ ざ い おさむ  
太 宰 治 (1909-1948)

—三島を訪れた文人—



太宰治  
日本近代文学館蔵

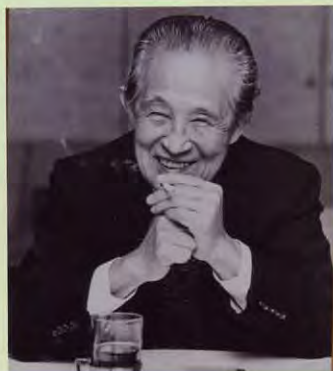
昭和の小説家。主な作品に『走れメロス』、『人間失格』などがあります。

—三島を舞台に—

昭和9年(1934)東海道線三島駅に降り立った太宰治は、広小路で酒屋を営む友人の坂部武郎宅の2階でひと夏過し『ロマネスク』の構想を練り、また『老ハイデルベルヒ』では坂部氏をモデルとした佐吉<sup>アルト</sup>を主人公とし三島を舞台とした小説を書いています。

い の う え やすし  
井 上 靖 (1907-1991)

—三島を訪れた文人—



井上靖 / 井上靖文学館蔵

戦後の小説家。主な作品に『しろばんば』、『敦煌』などがあります。

—少年洪作のみた風景—

井上靖自身ともいえる小説の中の「洪作」は『しろばんば』、『夏草冬濤』<sup>なつくさふゆなみ</sup>の中で、湯ヶ島と三島の間を軽便鉄道で何回か往復しています。また、中学時代は、三嶋大社前の伯母の家に下宿し、沼津中学(現沼津東高校)までの道程を歩いて通学しています。

## —三島を訪れた異人たち—

～シーボルト～ [ドイツ人医師・博物学者]

文政6年(1823)6月に来日します。長崎出島のオランダ商館医となり、文政9年オランダ商館長の江戸参府に随行しています。その時の記録「江戸参府紀行」によると4月7日に三島を通過しています。

～タウンゼント・ハリス～ [初代 駐日本アメリカ合衆国弁理公使]

日米修好通商条約締結のため、安政3年(1856)に来日します。下田から江戸へ向かう途中に三島宿本陣に滞在します。当時の本陣での宿泊の様子を在日中の日記『日本滞在記』で満足そうに語っています。

～ユリシーズ・グラント～ [アメリカ合衆国第18代大統領]

大統領職2期目の終了後、2年間世界中を旅行します。明治12年(1879)6月に日本を訪れた際、国賓としてもてなされました。同年8月16日に三島に来島し、官立三島こ巖(小学校)を饗応所として招いており、また本陣にも宿泊しています。

## 企画展—関連イベント—

### 三島の歴史・伝説をめぐろう

館内で配布するクイズを持って市内の史跡を巡っていただいた方に記念品を差し上げます。

### 火縄銃にさわってみよう! (期間中の土曜日)

実際に火縄銃を持ち、その重さを体感できます。

### 紙芝居上演—合戦 山中城— (期間中の土曜日)

館職員による手作り紙芝居の上演を行います。

## 三島市郷土資料館

【開館時間】午前9時～午後4時30分 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館。ただし11/5(火)、11/11(月)は臨時開館)

【入館料】無料(ただし楽寿園の入園料として大人300円、小中学生50円)

〒411-0036 三島市一番町19-3(楽寿園内) TEL 055-971-8228

URL <http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/> 【交通案内】三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内

【主催】三島市郷土資料館創造活動事業実行委員会 / 三島市教育委員会

平成25年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業